



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

第2号 令和3年9月2日

文責 久保山 紀陽子

「第2回学校運営協議会」を開催しました

8月30日（月）に2回目の「学校運営協議会」を開催しました。今回は、平和集会を行っている子どもたちの様子を見ていただきたいと思います。この日に行いました。一昨年度まででしたら体育館で行う集会ですが、今年度もコロナ感染症対策のためオンラインで行いました。学校運営協議会委員の皆さまには、4年2組にて子供たちと一緒に視聴していただきました。

■ 「平和集会」について

平和集会は、青空を見ることができる今の平和がずっと続くことを願って「青い空は」の曲を聴くことから始まりました。

次に、「嘉代子桜」の紙芝居を視聴しました。長崎市で学徒報国隊員として勤務していた当時16歳の嘉代子さんは勤務中に原爆の犠牲となりました。嘉代子さんの母が、花が好きだった嘉代子さんと被爆死した女学生の慰霊のために城山小に寄贈した桜が嘉代子桜です。今も城山小で平和のシンボルとして大切にされています。紙芝居を通して、子供たちは、将来の夢をもち、友達と楽しく遊ぶことができる自分たちの生活は、当たり前ではなく素晴らしいものであることに気付いたことと思います。

その後、全校で平和の誓いをし、黙祷を行いました。校長先生からは、平和を守っていくために「ニュースや新聞を見てこの世界で何が起きているのか敏感になろう」、「自分や回りの人を大切にしよう」等という話がありました。みんなで支え合いながら、素敵な若基小学校、平和な世界をつくっていききたいと思います。



【紙芝居を視聴している子供の様子】

■ 学校運営協議会の活動の方向性について

これから、学校運営協議会として、どのような活動をしていったらよいのか、地域代表者として学校運営にどのように関わっていくのかについて、若基小学校の特色を考えながら話し合いを行いました。クラス数が少ない（児童数が少ない）、昼間にボランティアとして来てもらえる地域の方がたくさんいるという特色を生かす活動ができないかと思案し、以下のような内容となりました。



【話し合いの様子】

①現在もしていただいている「登下校の見守り」を引き続き行っていく。

②学習支援の内容を広げていく。

現在、JA 基豊会の方に米作りの支援をしていただいているので、その他にないか検討していく。内容としては2種類考えられるのではないだろうか。

○困っている子供がすぐに聞くことができるようにすることで、子供が効率的に学習できるようにする。(ミシン、調理実習、習字道具や絵の具などを初めて使う時間、そろばんなど)

○全員の安全を確保するために、しっかりと複数で見守る。(マット運動、水泳など)

③クラブ活動の1つとして取り入れる。

歴史、英会話、プログラミング学習、工作など

学校運営協議会委員の皆さまに、「子供のためとなると地域の皆さんは進んで協力してくれます。」「子供と共に活動することは地域も元気になります。」などと嬉しい言葉をたくさんいただきました。地域の方に「学校に来てボランティアをしてよかった。」と思ってもらえるように、これから、さらに具体的に進めていきたいと思います。

■ 子供たちの様子について（意見交換）



学校運営協議会委員の皆様に教えていただいた子供たちの様子を紹介します。

まずは、若基小学校の素敵な子供たちです。

登下校の見守りの方に「いつもありがとうございます」と感謝の言葉を伝えている子供がいるそうです。

このようなすてきな姿は、全校に広がっていけばいいなと思います。

次に、気になる子供たちです。

1人で登校していたり、8時過ぎに登校したりしている子供がいるそうです。

若基小学校は朝早い登校中も地域の方に立っていただいています。たくさんの方に見守っていただいているので、決まった時間の中で安心して登校できるようにしようと子供たちにも呼びかける必要があると感じました。

コロナ感染症が猛威をふるっている中、予防のため等の理由で欠席を余儀なくされる子供も出てくると思います。子供たちが欠席した場合でも、学校とつながっていただけるように、また、学びをつなげることができるように、タブレットを活用して、遠隔授業の試みを進めてはというご意見をいただきました。実際、学校としても進めているところであり、そうすることで、子供が欠席した場合でも、複数ある子供の居場所の1つとして学校が存在することができるよう、学校とご家庭が常につながっていただけるように努めてまいります。



















